

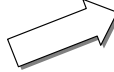
備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	03-03-01-04
事務事業名	吉永美術館管理運営事業	根拠法令・要綱等	備前市吉永美術館設置条例
事業開始年度		問合せ先	
大項目	基本目標 地域文化と人が輝くまちづくり	担当課(室)	吉永美術館
中項目	基本施策 歴史と文化の輝くまちづくり	職・氏名	主査 小原龍子
小項目	施策 文化芸術の振興	電話	84-3839

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	郷土の歴史に興味のある方、美術品をギャラリーとして展示したい方
目的(何のために)	郷土に関する資料の収集・保存を行うと同時に、展示によって郷土の歴史や文化についての理解・認識を深め、郷土の財産として後世に伝える。また、貸ギャラリーとしての貸館業務を行う。
行政活動(どのような方法で)	常設展による郷土著名人等の作品展示及び企画展として民間団体と共催し市内学童の絵画を展示
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	郷土の歴史や文化についての理解・認識を深める。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	入館者数	人	800	800	1,276
	開催日数	日	126	123	157
	直接事業費		1,327	1,095	1,046
	人件費	千円	830	665	526
	事業費計		2,157	1,760	1,572
	国県支出金				
	受益者負担	千円			
	市一般財源		2,157	1,760	1,572
	必要人員	人	0.10	0.10	0.09
結果指標	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	入館者数	説明 企画展入館者数			
	結果指標量	人	800	800	1,276
	対前年比	%	-	100.0%	159.5%
	活動コスト	円	2,157,000	1,760,000	1,572,000
	単位当たりコスト	円	2,696	2,200	1,232
	開催日数	説明 企画展開催日数			
	結果指標量	日	126	123	157
	対前年比	%	-	97.6%	127.6%
	活動コスト	円	2,157,000	1,760,000	1,572,000
単位当たりコスト	円	17,119	14,309	10,013	

事業の成果			
成果指標名	年間入館者数	式又は説明	年間を通した入館者数
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	800	800	1,276
対前年比		100.0%	159.50%
到達目標値	1,000	到達目標年度	平成20年度



事業の目的、対象、内容、コストを考慮しながら目的・効果の達成率を評価して下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価 <A-E>	C
目的	開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	郷土著名人の美術品等を所蔵しているものの、観覧者が満足する展示ができていない。今後、内容の充実した展示をするべきである。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	効率的性評価 <A-E>	D
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
コスト	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識	
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
手	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善している	公民館職員で対応しているため、コスト的には削減されているが、事業内容の有効性が伴わない。	
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
職	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	有効性評価 <A-E>	D
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上の見込みである		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	展示内容、PR等を充実させることにより、成果は向上すると考える。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民参画度		
	<input type="checkbox"/> 事業の縮小している		
	<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		

平成20年度の状況		説明	展示内容の検討をしている。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量 900	結果指標量	150
	成果指標量	1,000	

総合評価		評価区分 <A-E>	D
展示内容の充実、開館期間・時間を検討すべきである。			

平成21年度以降の方向性		説明	平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する		
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する		

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	展示の内容の充実	平成21年度	内容を充実させ、入館者の増加

